

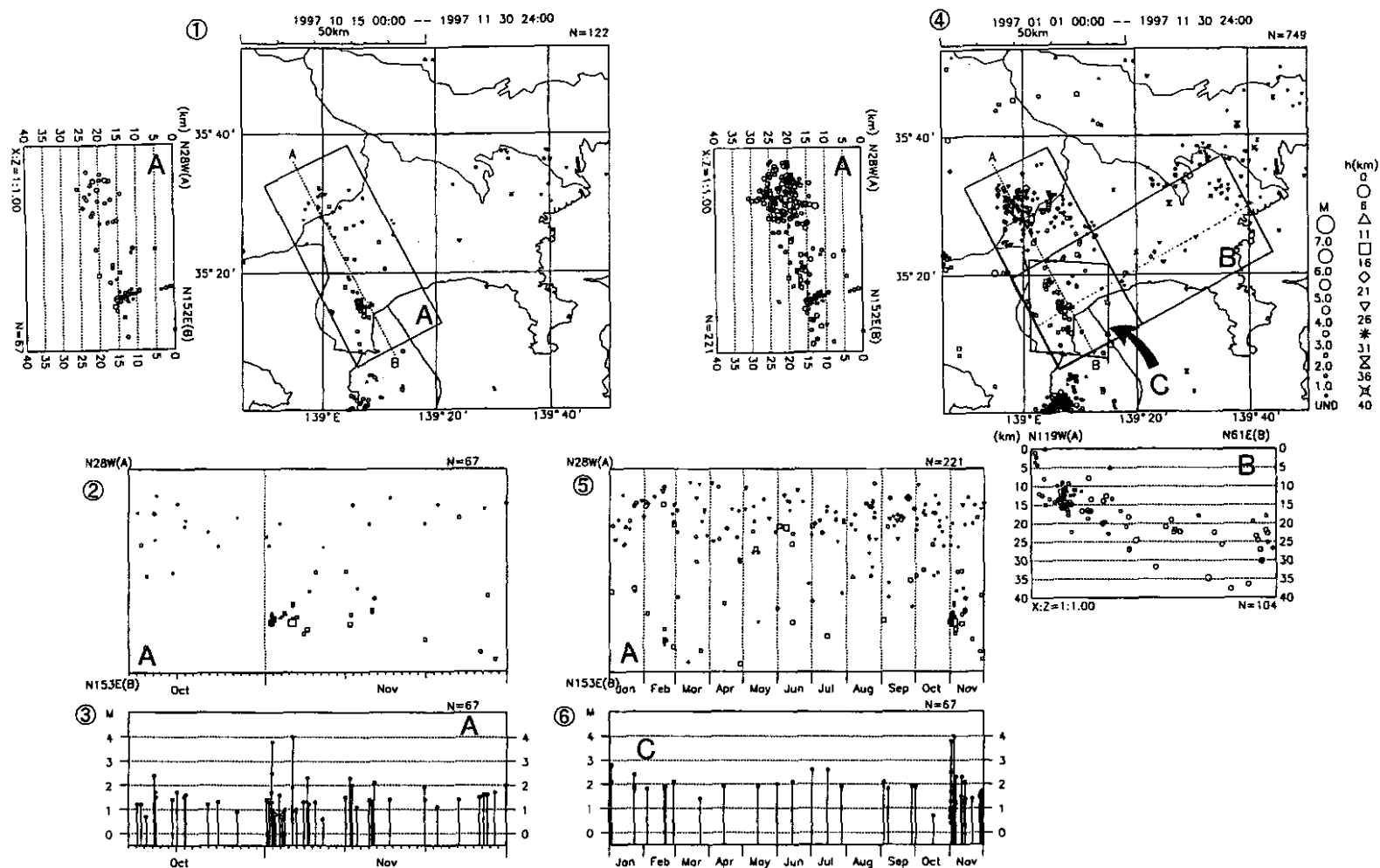
3 - 2 小田原付近の地震活動

Seismic activity near Odawara

気象庁地震予知情報課

Earthquake Prediction Information Division Japan Meteorological Agency

今回の期間外であるが、小田原付近で、11月1日と4日に、それぞれ、M3.8とM4.0の地震が発生した。第1図に示されるように、これらの地震はフィリピン海スラブを表すと考えられるトレンドの中にある。領域AのM-T図を見ると今年に入ってから散発的に地震が起こっており、今回の活動域においても6月と9月にM2クラスの地震が発生している。第2図は観測点固定で震源を再計算したものである。今回の活動はほぼ深さ12kmあたりに分布している。また、北北西-南南東に伸びる地震のトレンドが、北になるほど深くなる傾向も見らる。M3.8とM4.0のどちらの地震のメカニズムも北西-南東圧縮の逆断層型であり、メカニズムの一方の節面と震源分布は調和的である。

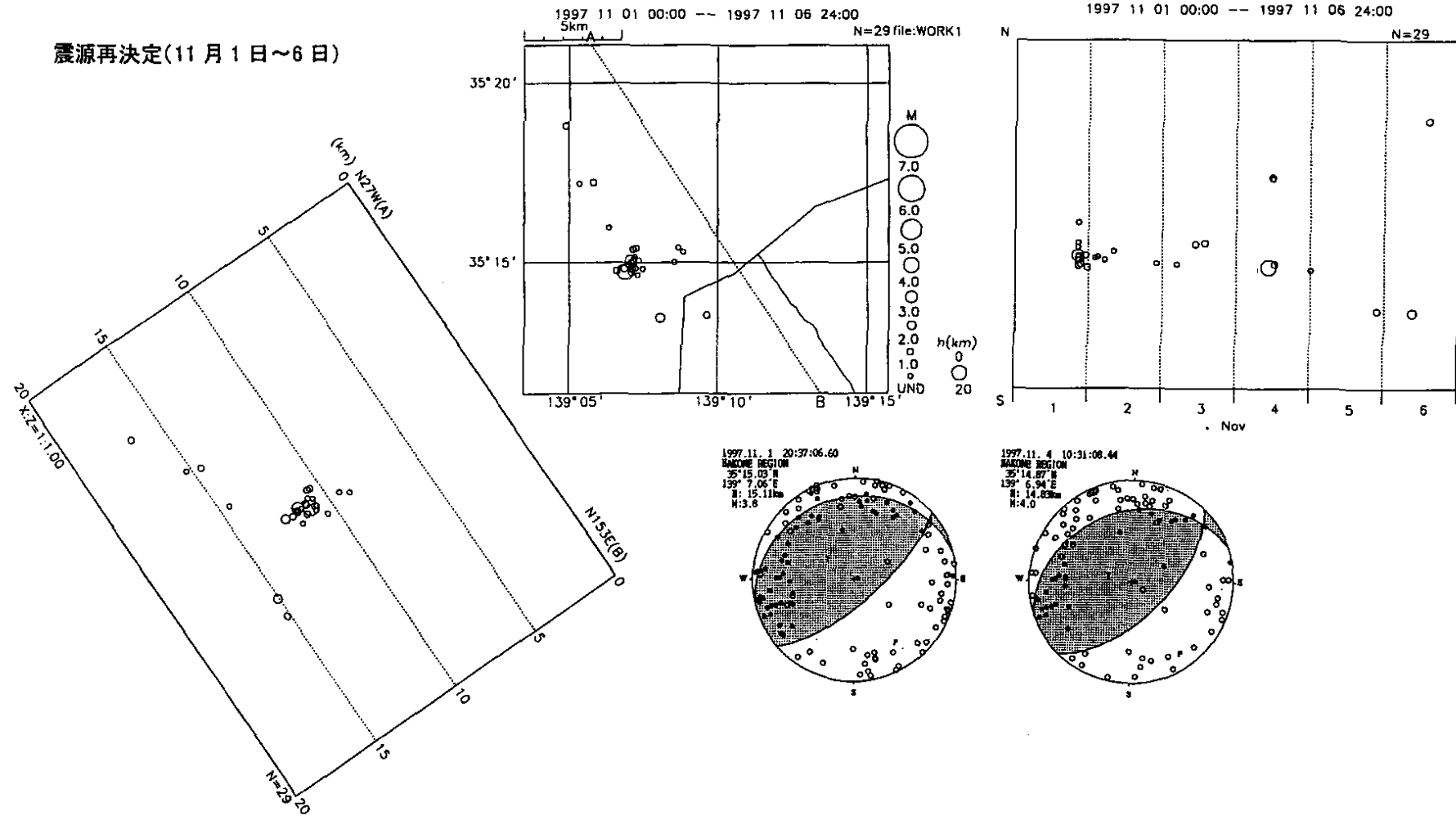


第 1 図 小田原付近の地震活動。 震央分布図と領域 A の断面図 (1997 年 10 月 15 日 ~ 11 月 30 日) , 領域 A の時空間分布と M - T 図。 震央分布図と領域 A , B の断面図 (1997 年 1 月 1 日 ~ 11 月 30 日) , 領域 A の時空間分布 , 領域 C の時空間分布

Fig.1 Seismic activity near Odawara. Epicentral distribution and vertical cross section in the region A (October 15–November 30, 1997) , space-time plot and M-T diagram in the region A. Epicentral distribution and vertical cross sections in region A and B(January 1–November 30, 1997) , space-time plot in the region A, and M-T diagram in the region C.

小田原周辺の地震活動

震源再決定(11月1日~6日)



第 2 図 震源再決定と発震機構解。

Fig.2 Re-determination of hypocenters using fixed stations and focal mechanism solutions.